

静原小 全国学力・学習状況 調査結果の考察

平成20年11月4日
京都市立静原小学校
校長 榎木 稔

生徒指導

良かった点

学習面

- ・学校の宿題をしている。
- ・好きな授業科目がある。
- ・自然についての知識が豊富で、また自然の中で遊ぶ経験が多い

生活面

- ・毎日朝食を食べている。
- ・物事を最後までやり遂げてうれしかった経験をしている子が多い。
- ・家の手伝いをしている子が多い。
- ・家の人と学校での出来事について話しをしている。
- ・みんな友達に会うのが楽しいと感じている。
- ・多くの子が地域の行事に参加している。
- ・友達との約束を守る。
- ・いじめはどんな理由があってもいけない、という意識が強い。

改善点

学習面

- ・学校に持っていくものを、前日やあるいはその日の朝に確かめられていない子もいる。
→忘れ物が多い。よく物をなくす。子どもの中に甘えがあるのではないだろうか。
→物を大切に作る心や、自己管理能力を高める必要がある。
- ・家や図書館で、1日あたりに読書をする時間が少ない。
→個人差が大きい。「自分にとって良い本」に出会うことが、本好きへの第一歩。
- ・新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていない。
→普段気をつけて使うしか漢字は覚えられない。
- ・家で自分で計画をたてて勉強しているか。
→出された宿題はやる。逆に言えば、何か指示してもらえないと何をしたら良いか考えられない子が多い。時間を決め、集中して自主学習ができるような取組が必要。
- ・家で学校の予習、復習をしている子があまりいない。特に予習。
→予習といっても、教科書を見て、次時の課題を考えてくるという程度で十分。どんな勉強をするのか、自分なりに捉え、どの学習にも、目当てを持って取り組ませるようにする。

生活面

- ・毎日、寝る時間が不規則である、あるいは寝る時間が遅い傾向にある子の割合が高い。
→睡眠は子どもにとって最も大切な成長剤の一つである。毎日決まった時間に寝て起き、体のリズムを整えることで、学習効果も上がることを、子ども自身にも理解させたい。
- ・1日あたり、テレビやビデオ・DVDを見たりゲームをしたりする時間が全体的に多い。
→家庭でルールを決める。ゲームやテレビの時間と、学力は大いに関係しているという論文もある。

国語

良かった点

- ・漢字を正しく読むことができる。
- ・場面についての描写を正しくとらえることができる。

改善点

- ・漢字を正しく書いたり使い分けたりすることに課題が見られる。
 - ・文の構成や表現の効果を確かめ、正しく推敲することに課題が見られる。
 - ・目的に応じて段落の内容をとらえることに課題が見られる。
 - ・目的に応じて必要な情報を取り出し、整理したり効果的に書いたりすることに課題が見られる。
 - ・意見文を書くために、意見文を比べて読み、文章全体の組立の違いをとらえることに課題が見られる。
- 学習の中に書く活動を入れていく。
→ 書いた文章を推敲する
→ 分からない言葉を辞書で引く習慣化を図る。
→ チャレンジ学習・課外学習の充実を図る。
→ 読書の充実を図る。(家庭読書)
→ 日頃から書く継続させる。(日記、手紙、メモなど)

算数

良かった点

- ・整数の二桁どうしの乗法がしっかり定着し、計算できている
- ・10を6個、1を8個、0・1を3個、組み合わせた数を求めるという十進位取り記数法について理解できている。

改善点

- ・小数と整数の除法(わり算)の計算をすることに課題が見られる。
- 計算の中でわり算が基本的操作を繰り返して計算するため、ミスの頻度も増す。ミス減らすために、早くできるようにといった観点から計算練習の機会を増やしていくことが必要である。
- ・小数の計算における乗数(かける数)とその答えである積(かけ算の答え)の大きさの関係や除数(わる数)とその答えである商(わり算の答え)の大きさとの関係についての理解に課題が見られる。
- 乗数と積の大きさ及び除数と商の大きさとの関係について知識を確かめるとともに、計算の答えの見積りを日頃から心がけ、計算の結果をおおよそ捉えておく習慣づけが必要である。
- ・面積についての感覚や平行四辺形の面積の求め方の理解及び求積(面積を求めること)することに課題が見られる。
- 面積については、一辺1cmや一辺1mの正方形を基本に学習している。この際に、辺と辺との関係が垂直つまり直角があるものとして学んでいる。ところが、三角形・平行四辺形では、面積を求めるために用いる辺が必ずしも垂直ではない。そこで、与えられた数量を吟味して、底辺・高さになる数値を選べるよう、練習を重ねることが必要である。- ・百分率についての理解に課題が見られる。

→文章の中に使われる数量関係について正しく理解していくことが難しい学習が割合である。百分率はその表し方の一つの型である。割合の数量関係を理解していくには、関係図・線分図といった図に書き表すことが必要である。日頃から図に数量関係を表し、その関係を正しく理解できるよう練習を重ねることが必要である。